

小規模企業の景況

(2025年1～3月期)

大阪商工会議所による小規模企業の景況調査(四半期毎)2025年1～3月期の結果概要は以下の通り。今期(2025年1～3月期、調査基準日:3月1日)の業況判断DIは▲22.7(前回調査▲22.4)となり、3期連続して低下した。売上額DI値は▲11.2(前回調査から6.0ポイント上昇)、資金繰りDI値は▲16.9(前回調査から2.1ポイント上昇)、従業員数過不足DI値は▲12.7(前回調査から1.8ポイント上昇)となった。「経営上の問題点」では、「仕入単価の上昇」が小売業で11期連続第1位、卸売業で4期連続第1位、「原材料価格の上昇」が製造業でも4期連続第1位となり、3業種で単価上昇が共通課題となった。

1. 今期(2025年1～3月期)の状況

【売上額】今期(2025年1～3月期)の売上額DI(全産業)は、前回調査(2024年10～12月期)の▲17.2から6.0ポイント上昇し、▲11.2となった。業種別では前回調査から、製造業が15.3ポイント、小売業が14.3ポイント上昇し、卸売業が1.1ポイント、サービス業が3.4ポイントそれぞれ低下した。

【資金繰り】今期の資金繰りDI(全産業)は、前回調査(▲19.0)から2.1ポイント上昇し、▲16.9となった。業種別では前回調査から、製造業が5.7ポイント、卸売業が12.8ポイント上昇し、小売業が0.9ポイント、サービス業が7.8ポイントそれぞれ低下した。

【業況判断】今期の業況判断DI(全産業)は、前回調査(▲22.4)から0.3ポイント低下し、▲22.7となった。業種別では前回調査から、製造業が5.5ポイント、小売業が2.2ポイント上昇し、卸売業が5.5ポイント、サービス業が3.3ポイントそれぞれ低下した。

【従業員数過不足】今期の従業員数過不足DI(全産業)は、前回調査(▲14.5)から1.8ポイント上昇し、▲12.7となった。業種別では前回調査から、製造業が3.8ポイント、小売業が8.1ポイント上昇し、卸売業が1.2ポイント、サービス業が3.8ポイントそれぞれ低下した。

2. 来期(2025年4～6月期)の予想

来期(2025年4～6月期)の全産業の予想DIは、売上額▲8.7、資金繰り▲13.6、業況判断は▲20.2となった。

3. 経営上の問題点

製造業で「原材料価格の上昇」「需要の停滞」、卸売業・小売業で「仕入単価の上昇」、サービス業で「利用者ニーズの変化への対応」が第1位となった。

※DI値とは……ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、本調査では前年同期(2024年1～3月期)と比較して売上額、業況判断、資金繰りなどが「増加」「好転」したなどとする企業割合から、「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

【調査の概要】

- ・調査名：第179回中小企業景況調査（中小企業庁・中小企業基盤整備機構）
 - ・調査時期：2025年2月10日～3月5日（前回：2024年10月30日～11月19日）
 - ・調査方法：経営指導員による、調査票に基づく聴取り調査
 - ・調査対象：大阪市内の中小企業・小規模事業者
 - ※ 全国18,840件中（商工会議所調査対象7,931件）、大阪商工会議所分324件。
 - ※ 本紙では、大阪商工会議所分のうちとくに小規模事業者（従業員：製造業20人以下、商業・サービス業5人以下）234件について取りまとめた。
- 〔製造業70件、卸売業49件、小売業58件、サービス業57件〕

■DI推移（全産業）

	176回調査	177回調査	178回調査 （前回）		179回調査 （今回）	
	2024年(R6) 4～6月期	2024年(R6) 7～9月期	2024年(R6) 10～12月期	2025年(R7) 1～3月期	2025年(R7) 1～3月期	2025年(R7) 4～6月期
売上額（増-減）	-3.6	-13.9	-17.2	-7.5	-11.2	-8.7
資金繰り（好-悪）	-11.3	-14.6	-19.0	-14.6	-16.9	-13.6
業況（好-悪）	-9.8	-19.1	-22.4	-19.0	-22.7	-20.2
従業員（過-不）	-13.5	-5.9	-14.5	-	-12.7	-

■経営上の問題点

順位	製造業	件数	卸売業	件数	小売業	件数	サービス業	件数
1位	原材料価格の上昇 → 需要の停滞 ↑	18 (23) 18 (11)	仕入単価の上昇 →	20 (21)	仕入単価の上昇 →	16 (17)	利用者ニーズの変化への対応 →	11 (15)
2位			需要の停滞 →	9 (11)	需要の停滞 ↑	11 (5)	人件費の増加 →	7 (8)
3位	生産設備の不足・老朽化 ↑	8 (6)	販売単価の低下・上昇難 ↑	6 (1)	消費者ニーズの変化への対応 ↓	7 (10)	人件費以外の経費の増加 → 需要の停滞 ↑ 大企業の進出による競争の激化 ↑ 熟練従業員の確保難 ↑	5 (6) 5 (5) 5 (4) 5 (4)

〔注〕（ ）内は前回（2024年10～12月期）調査結果

↑＝前回より高順位

→＝前回と同順位

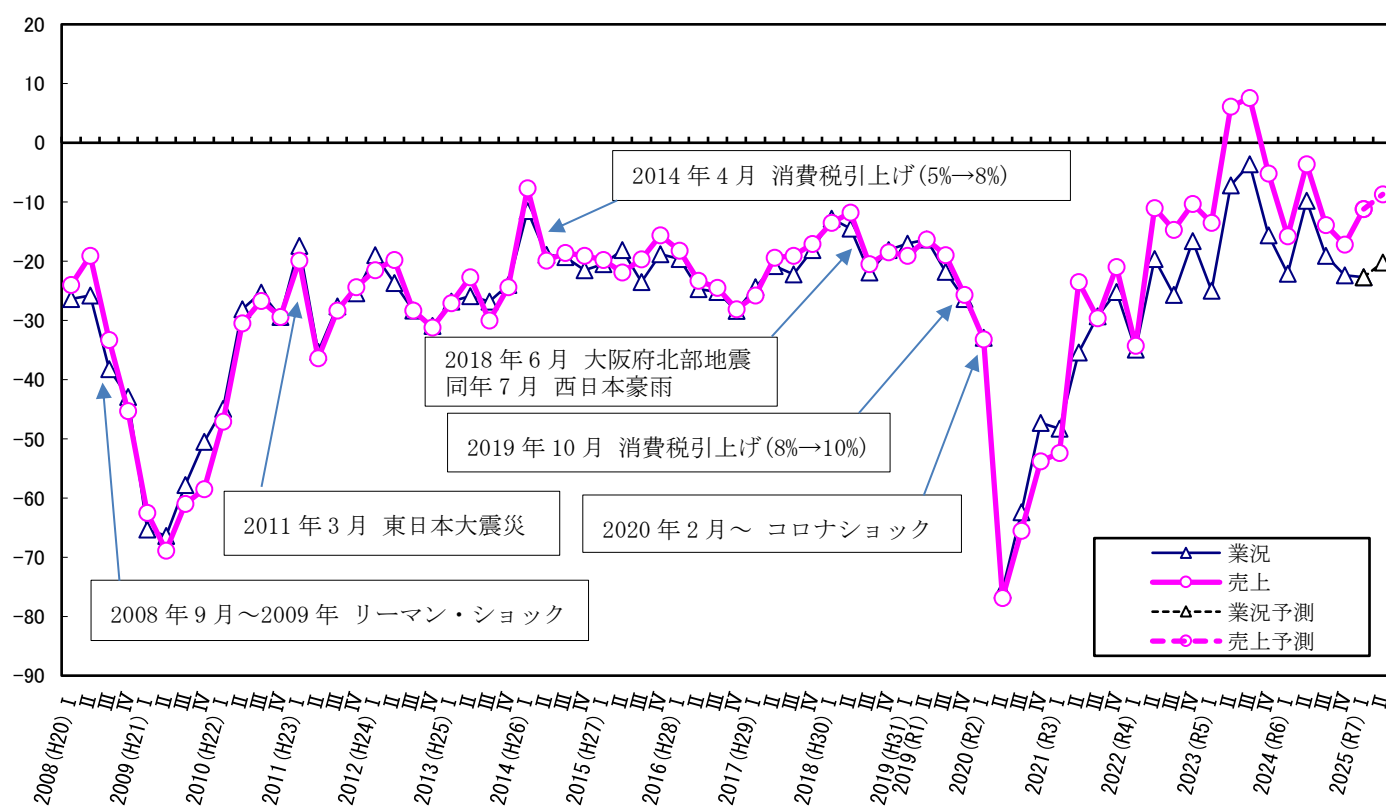
↓＝前回より低順位

■ 状況比較表（業種別）

項目	業種	今期の状況(1～3月期)				前回(10～12月期)からの推移	来期の予想(4～6月期)			
		増加	不変	減少	増－減		増加	不変	減少	増－減
売上額										
	製造業	20.8	36.1	41.7	▲ 20.8	15.3	12.5	52.8	34.7	▲ 22.2
	卸売業	31.4	29.4	37.3	▲ 5.9	▲ 1.1	29.4	41.2	29.4	0.0
	小売業	32.2	32.2	35.6	▲ 3.4	14.3	30.5	39.0	30.5	0.0
	サービス業	25.0	38.3	36.7	▲ 11.7	▲ 3.4	21.7	46.7	30.0	▲ 8.3
	合計	26.9	34.3	38.0	▲ 11.2	6.0	22.7	45.5	31.4	▲ 8.7
	前回	24.6	33.6	41.8	▲ 17.2		23.5	45.5	31.0	▲ 7.5
資金繰り		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	4.1	72.6	19.2	▲ 15.1	5.7	2.8	75.0	19.4	▲ 16.7
	卸売業	5.9	78.4	15.7	▲ 9.8	12.8	2.0	84.3	13.7	▲ 11.8
	小売業	6.8	66.1	27.1	▲ 20.3	▲ 0.9	8.5	66.1	25.4	▲ 16.9
	サービス業	5.0	66.7	26.7	▲ 21.7	▲ 7.8	11.7	65.0	20.0	▲ 8.3
	合計	5.3	70.8	22.2	▲ 16.9	2.1	6.2	72.3	19.8	▲ 13.6
	前回	6.7	65.7	25.7	▲ 19.0		7.1	69.4	21.6	▲ 14.6
業況		好転	不変	悪化	好－悪		好転	不変	悪化	好－悪
	製造業	8.3	55.6	34.7	▲ 26.4	5.5	5.6	56.9	34.7	▲ 29.2
	卸売業	13.7	51.0	35.3	▲ 21.6	▲ 5.5	7.7	63.5	21.2	▲ 13.5
	小売業	15.3	44.1	37.3	▲ 22.0	2.2	13.6	50.8	32.2	▲ 18.6
	サービス業	15.0	50.0	35.0	▲ 20.0	▲ 3.3	11.7	60.0	28.3	▲ 16.7
	合計	12.8	50.4	35.5	▲ 22.7	▲ 0.3	9.5	57.6	29.6	▲ 20.2
	前回	13.4	50.0	35.8	▲ 22.4		10.8	55.2	29.9	▲ 19.0
従業員		過剰	適正	不足	過－不					
	製造業	1.4	77.8	18.1	▲ 16.7	3.8				
	卸売業	1.9	82.7	9.6	▲ 7.7	▲ 1.2				
	小売業	1.7	81.4	1.7	0.0	8.1				
	サービス業	3.3	62.3	27.9	▲ 24.6	▲ 3.8				
	合計	2.0	75.8	14.8	▲ 12.7	1.8				
	前回	1.5	74.3	16.0	▲ 14.5					

「今期の状況（除従業員）」は2025年1～3月期状況であり、前年同期の2024年1～3月期との比較。来期の予想は2025年4～6月期予想であり、2024年4～6月期との比較である。「前回」欄は2024年10～12月期調査の数字。従業員は、過去との比較ではなく、業務量に照らした過不足。

■景況グラフ（売上額・業況）



※表示値＝D I（増加・好転－減少・悪化）値

※Ⅰ期=1-3月、Ⅱ期=4-6月、Ⅲ期=7-9月、Ⅳ期=10-12月

※2025年Ⅱ予想値